

空き家対策推進に関する要望決議

中井町でも急速に増え続ける空き家の問題は非常に深刻であり、至る所で顕在化している。空き家の放置は、建物の老朽化や景観の悪化を招き、防犯上のリスクや住民の生活環境の悪化も引き起こすため、地域の魅力や安全性を低下させている。こうした問題に対処するためには、空き家の適切な管理や利活用を促進する政策の強化が必要である。

まず、空き家の所有者に対する意識改革を促し、空き家の適切な管理を行うよう啓発をすることが重要である。また、税制の見直しや補助金の提供など、空き家対策を推進するための支援策も重要であり、さらには地域住民や自治体、企業が協力して、空き家の問題を共有し、コミュニティ全体で解決策を模索することが求められている。

以上のことから、空き家バンクの推進や「空家等対策計画」の早期策定と充実、空き家を減らすための予防策の強化を強く要望する。

記

1 空き家の利活用促進

空き家の有効活用を推進するため、空き家バンクへの登録を積極的に奨励・促進するとともに、併せて県の宅建協会や不動産協会への登録を行う。

2 空き家管理適正化の強化

町は令和6年度より「空家等対策計画」の策定を進めているが、空き家にならないための予防対策として、書き込み式の「(仮称)我が家の将来計画ノート」を作成し、全戸に配布する。

3 新たな補助金制度の創設

空き家バンクへの登録時に、片付け費用の補助や空き家解体に伴う費用に掛かる補助金制度を創設する。

以上、決議する。

令和6年9月13日

中井町長 戸村 裕司 殿

中井町議会